



6年生より

6年担任
堀之内 香さね

これまで委員会やクラブを引っ張り、毎月のファミリー遊びを考え、あらゆる行事に全力で取り組んできた6年生ですが、その役目も徐々に5年生へとバトンタッチをしているところです。

もうすぐ卒業することに対して実感はあまりなかった子供たちでしたが、卒業文集の作成や、「6年生を送る会」「卒業を祝う会」を経て、ようやく学校生活が残り僅かであることを認識できたようです。

先月は、家庭科の調理実習を行いました。何度も班で話し合い、一食分の献立を考え、必要な材料や道具、時間配分まで綿密に計画を立てました。

火が通りやすいように具材の切り方を工夫したり、手の空いている人が率先して片付けを行ったりする様子が見られ、成長を感じました。子供たちは、友達と協力して調理をしたことが何よりも楽しかったようで、また一つ思い出が増えました。

卒業まで残り僅かですが、悔いなく小学校生活の終わりを迎えられるようにサポートしていきます。

3年生より

3年担任 小寺 里加

3学期が始まり、3年生は大忙しの毎日です。世界ともだちプロジェクトの発表に始まり、七輪体験、社会科見学、サッカー教室、クラブ見学、赤坂安全マップ隊としての出動、警察署出前授業などの活動を日々頑張っています。

普段の座学とは違う、生きた学習に取り組んでいる子供たちの姿はとても生き生きとして、楽しそうにしています。

中でも、先月の社会科見学では、東京タワーから港区を展望し、東西南北の様子を調べました。南に見える東京湾やレインボーブリッジを眺めながら、4年生になって学習する新たな課題に期待している姿が微笑ましく感じられました。

また、港区郷土歴史館では、2学期から学習してきた昔のくらしや道具を実際に見たり、触ったりしながら、昔のくらしの大変さと今の便利さを実感していました。

次に向かったNHK放送博物館では、テレビやラジオの歴史を体験しました。特に、戦時中のテレビ放送は子供たちにとって衝撃的だった様子で、今の平和な時代を噛みしめながら映像を見入っていました。

そして、最後は愛宕神社に行き、参拝の手順を教えてもらったり、神社の由来、言い伝えなどを聞かせてもらったりしてきました。

子供たちにとって、とても楽しく学びの多かった社会科見学となったようです。

中学年で身に付ける力はまだまだこれからたくさんあります。その一つ一つを自分たちの力にできるよう、これから残りの日々を過ごしていこうと思います。

今年度の校内授業研究について

研究主任 保坂 司

日本の学校では、「校内研究」といって、毎年、研究テーマを決めて、授業指導や教科内容の研究を行っています。このように、教師が互いの授業を見合っって意見交換をし、授業指導の技量を高めるシステムは、世界の中でも珍しいものです。日本のやり方を見習って、教師の指導技術を上げるために、この方法を取り入れる国も増えています。

さて、赤坂小学校では、今年度から研究教科を「算数科」にし、「論理的思考力を高める算数授業の追究」というテーマのもと、一年間、授業研究を進めてきました。算数の授業は、ほぼ毎日あります。その毎日ある算数の授業を、楽しく、学びのあるものにするには、学力の向上だけでなく、子供たちにとって学校生活を充実させることにもつながると考えました。

4回の研究授業を通して、「論理的思考力を高める」手立てや、子供たちが興味をもって意欲的に取り組める教材の研究をし、毎日の授業に結び付けてきました。また、金曜日の朝は「算数タイム」を設定し、論理的思考力を高めるために、教科書とは一味違う、バラエティに富んだ問題を考えました。

手探りで始めた算数科の研究ですが、手応えを実感することができました。来年度も継続することで、さらに子供たちの算数科の学力向上を目指していきたいと思っています。